

【重要】

通信教育部芸術学部芸術教養学科に在籍している方で科目等履修を併せ受講している場合、芸術文化情報センターの利用は、『学生証』での利用となり、『受講証』での利用はできません。(受けることのできるサービス範囲が異なるためです。)また、本科を休学している場合は『受講証』での利用は可能ですが、そのサービスの範囲は科目等履修生の範囲となります。

①施設案内

1. 開館時間

月曜～金曜 9:00～20:00 土曜 10:00～19:00 日曜祝日・短縮開館 10:00～18:00

※カウンター窓口の受付終了は閉館の20分前です。

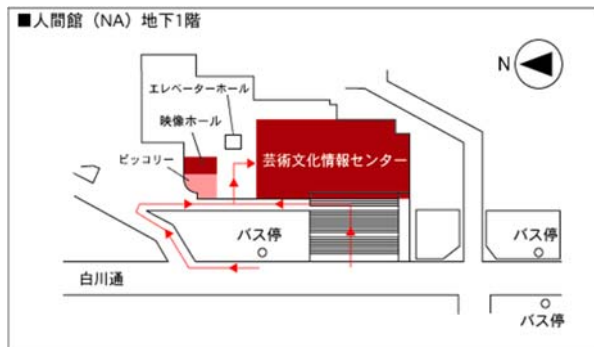
2. 休館日

祝日・年末年始・館内整備日(原則毎月末)

入学試験実施日とその前日など、大学が定めた日、長期休暇中の一定期間

※開館日及び時間の詳細はセンターホームページにて確認してください。URL: <http://acic.kyoto-art.ac.jp/>

■センター所在：瓜生山キャンパス 人間館（NA棟）地下1階



■館内マップ



②利用方法とサービス

1. 入館と退館

■入館：学生証をゲートにかざし、バーコードを読み取らせて入館してください。

<注意>ゲートが閉じていることを確認してから、1人ずつ入館してください。

■退館：向かって右側のゲートを手で押して、退館してください。学生証は必要ありません。

2. 図書・雑誌を閲覧する

館内の閲覧スペースで、開架している図書・雑誌を自由に閲覧できます。

3. 図書を借りる

図書（貸出可のもの／禁帯・雑誌・メディアを除く）を **10冊2週間**、借りることができます。借りたい図書と学生証をカウンターに持参してください。借りている図書を継続利用したい場合、他に延滞資料がなければ1回に限り延長できます。返却期日までに、借りている図書と学生証をカウンターに持参し申し出てください。

4. 図書を返却する

返却期日までにカウンターで図書を返却してください。万一返却が遅れた場合、**遅れた日数だけ貸出停止**となります。

5. 図書を郵送で返却する

来館での返却が困難な場合、郵送返却を受け付けます。資料が汚損・破損しないよう梱包し、返却期日までに発送してください。

- ・返送は「ゆうパック」など、梱包が確実にできるものに限ります。
- ・資料の**水濡れ・破損がないよう、エアクッション等を利用して梱包**してください。
※資料が破損して到着した場合は、弁償を求めます。万一の郵便事故に備え、受け取った伝票はしばらくの間保管してください。
- ・以下の必要事項をすべて記入してください。

宛先：〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

京都造形芸術大学 芸術文化情報センター 返却受付係 TEL 075-791-8134

記入必要事項：氏名（ヨミガナ）、学籍番号、住所、電話番号

〈例：ゆうパックご利用の場合〉

資料の到着を確認するため「必要」を選んでください。

宛名は漏れなく正確に記入してください。

住所・学籍番号・氏名（ヨミガナ）電話番号を正確にご記入ください。

書籍 〇冊

返却冊数を明記してください。

郵便番号	〒	606	827	116
〒	606	827	116	
住所	京都市左京区北白川瓜生山 2-116			
宛先	京都造形芸術大学 芸術文化情報センター 返却受付係			
TEL	075(791)8134			
品名	書籍 〇冊			
送り主	〒600724 京都市中京区寺町通御池上ル 〇〇町 〇〇番地 12345678 造形芸大 様 TEL 075(221)〇〇〇〇			

6. 映像資料を視聴する

メディアスペース（映像視聴スペース）で映像資料を視聴できます。見たい資料を1点選び、学生証とともにカウンターへ提示してください。視聴ブースの起動キーを貸し出します。

<注意> 持込資料の視聴はできません。

7. 複写する

学習目的の場合に限り、著作権の範囲内（著作物の1部分を1人につき1部まで）で所蔵資料を複写できます。

館内コピーコーナーで複写できます（モノクロ10円/枚 カラー50円/枚）。

<注意> 館内のコピー機で持込資料の複写はできません。また、領収書・レシートの発行はいたしません。

8. ノートパソコンを利用する

カウンターで学生証を提示してください。インターネットを利用したい場合は、その旨を貸出時に申し出てください。当日のみ有効なアカウントを発行します。

9. 相互利用サービスを利用する

本学が所蔵していない他大学図書館、研究機関等所蔵資料の「文献複写の取り寄せ」「資料の借用」「所蔵機関への訪問」が可能な場合があります。希望者はカウンターでご相談ください。事前調査及び相手機関との調整が必要であるため、電話・FAX・メールによる受付はできません。なお、本サービスにかかる費用は**申込者負担**となります。

<注意> 当センターを介さず相手館を訪問すること、個人で相手館へ連絡することは厳禁です。

③利用マナー

以下のルールを守って、利用してください。

- ・資料、設備、備品は大切に扱ってください。紛失、汚損、破損の場合、弁償を求められることがあります。
- ・学生証のまた貸しは厳禁です。
- ・館内の電源を、携帯電話の充電などの私用で使うことはできません。
- ・館内では私語は慎み、他の利用者の迷惑にならないようにしてください。
- ・館内に飲食物（ペットボトルも含む）や傘を持ち込まないでください。
- ・館内での携帯電話・PHSの通話は禁止します。必ず電源を切るか、マナーモードに設定して入館してください。
- ・盗難防止のため、持ち物は必ず携帯してください。
- ・センター職員の指示にしたがってください。

京都造形芸術大学 芸術文化情報センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

TEL:075-791-9122（代表） FAX:075-791-3318

URL: <http://acic.kyoto-art.ac.jp/>

芸術教養学科在校生のための図書館利用 Q & A

Q1 - 図書資料を借りる（入手する）にはどのような方法（場所）があるのか。

A - スクーリング等で本学に足を運ぶ機会の少ないみなさんは、以下の方法を駆使する必要があります。

① 公共図書館で借りる

近隣の公共図書館に所蔵があれば、身近でありベストです。まずは、それぞれの図書館の利用方法を確認し、所蔵の有無を調べましょう。最寄の図書館になくても、他の公共図書館が所蔵していれば取り寄せてもらえることがあります。国立国会図書館サーチなども利用して広く検索してみましょう。

・ 国立国会図書館サーチ <http://iss.ndl.go.jp/>

② 他大学図書館を利用する

地域住民に一般開放している大学図書館があります。

以下「他大学図書館情報」の、「**入館可**」となっている**図書館**を利用できます。但し、貸出や複写が可能かどうか等はそれぞれの図書館HPの、**学外者向け案内**にしたがって利用してください。

<！>「利用前に本学に相談」となっている図書館は、当センター発行の紹介状が必要です。

※Q2 を参照。

・ 他大学図書館情報 <http://kensaku.kyoto-art.ac.jp/mylmedio/dirsearch/dirsearch.do?dirid=daigaku>

・ CiNii Books - 大学図書館の本をさがす <http://ci.nii.ac.jp/books/>

③ 購入する

常時使用する、あるいは比較的安価な新書・文庫などはインターネット書店、古書店等で購入し、身近に置かれることをお勧めします。

・ Amazon.co.jp <http://www.amazon.co.jp/>

・ 日本の古本屋 <http://www.kosho.or.jp/servlet/top>

④ 電子書籍を探す

電子書籍が公開されている場合があります。以下から検索してみてください。

・ Google Books <http://books.google.co.jp/>

・ 青空文庫 <http://www.aozora.gr.jp/>

・ 国立国会図書館デジタル化資料 <http://dl.ndl.go.jp/>

⑤ 芸術文化情報センター（本学図書館）で借りる

当センターに所蔵があれば、来館して利用してください。

本学所蔵や貸出状況は「OPAC（蔵書検索システム）」で確認できます。

・ OPAC <http://kensaku.kyoto-art.ac.jp/mylmedio/search/search-input.do>

<！>来館前に、開館しているかを必ず確認してください。

センターHP <http://acic.kyoto-art.ac.jp/> （右上にカレンダー）

- Q2 - 他大学図書館所蔵資料を学習・研究目的で閲覧したいが、ホームページの学外者向けの案内に「所属大学発行の紹介状が必要」と書かれていた。どのようにしたらよいか。
- A - 当センターを介して紹介状の発行が必要です。

紹介状の発行が必要な他大学図書館の訪問利用は、**当センターに希望資料の所蔵がない場合に限り受け付けています**。紹介状の発行は、**当センターへ来館しての手続が必要**です。来館する機会が無い場合は、Q1のいずれかの方法で対処してください。また、他大学訪問では閲覧のみ可能で、貸出はできません。

<！>個人で先方の大学へ連絡を取ることは、了承なく直接訪問することは厳禁です。
(ただし、先方大学の卒業生・利用を許可された地域住民等は除きます)